

※一部非公開

令和五年度入学試験問題（後期日程）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、設問は二問ある。それぞれ指定された面に解答すること。
- 四、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 五、解答時間は、一二〇分である。
- 六、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

問題

次の文章を読んで、問一と問二に答えなさい。

問一 下線部において筆者は、父子世帯の形成および維持のためには「一定の条件」が必要であると述べている。具体的には、どのような条件が必要であろうか。文章中で述べられている父子世帯の特徴や、四つの個別ケースに関する記述をふまえて、四〇〇字以上、六〇〇字以内で述べなさい。

問二 あなたは、父子世帯の困難を解消するために、どのようなことが必要だと考えるか。文章中で挙げられている様々な父子世帯の困難の中から一つを取り上げ、あなた自身の考えを、四〇〇字以上、六〇〇字以内で論じなさい。

非公開

非公開

非公開

(湯澤直美「標準家族モデルの転換とジェンダー平等」宮本太郎編著『転げ落ちない社会 困窮と孤立をふせぐ制度戦略』、勁草書房、二〇一七年、三三〜五六ページ、抜粋・一部改変)

注釈

注1 厚労調査…厚生労働省の調査。

注2 リーマンショック…2008年にアメリカの証券会社・投資銀行であるリーマン・ブラザーズが倒産したことを契機として発生した、世界的な金融危機および世界同時不況。

令和五年度入学試験問題（後期日程）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

出題の意図

この小論文の出題意図は、受験生が社会科学系の学問を学ぶ上で必要な理解力・考察力・論理的思考力・記述力をどの程度もっているのを見ることにある。

問一は、ひとり親世帯の中でも特に父子世帯の特徴や固有の困難性について論じた文章を読んで、父子世帯の形成及び維持にとって必要となる条件について、統計や具体的なケース事例を含む文章を正しく読み取り、記述させる設問である。これは、本学科のアドミッション・ポリシーである、社会科学を学ぶための基礎学力、社会情勢を広く認識し、論理的に説明する力をもっているかを問う出題である。

問二は、本文の内容をふまえたうえで、父子世帯の困難を解消するために必要なことは何か、受験生自身に考察させ、自分の考えを論理的に説明することを求めている。これは、本学のアドミッション・ポリシーである柔軟かつ総合的な思考力と、主体的に学ぶ意欲の有無を問う出題である。